

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（光村図書） 発行者番号（38）
1 内 容	○ 基礎的・基本的事項の内容がしっかりと押さえられている。 ○ 巻頭に「学び方コーナー」を設け、1時間ごとに「まなびのポイント」が設定されており、児童がどのように学習を進めていったらよいか、分かりやすく説明してある。問題解決的な学習に適している。 ○ 難語句は、「ことば」として、取り出して説明してあり、児童が分かるよう工夫してある。 ○ 小单元ごとに「まとめる」ページを設け、直接記入できるようになっているので、まとめる際に役立つ。 ○ 3・4年下の「わたしたちの県」の「日本地図を広げて」のコーナーは、都道府県の名前と場所を調べやすくなっている。	○ 基礎的・基本的事項の内容がしっかりと押さえられている。 ○ 各ページに活動の流れが示されており、1時間ごとの活動内容が分かりやすい。児童が見通しをもって学習を進めることができる。「深める」という発展的な学習にも対応している。 ○ 「学びのてびき」欄を設け、児童が意欲をもって学習を進められるように工夫してある。「やってみよう」というコーナーがあり、資料を読み取ったり、体験したりといった学習活動に取り組みやすい。 ○ 小单元ごとに「まとめる」ページを設け、児童の思考力や表現力が高められるよう工夫している。 ○ 「もっと知りたい」コーナーで、発展的な学習にも対応している。	○ 基礎的・基本的事項の内容がきちんと取り上げられている。 ○ 最初に学び方を示し、学習段階を「ホップ・ステップ・ジャンプ」という三段階で捉え、児童がどのように学習を進めていったらよいかのかが分かりやすく説明してある。 ○ 「ことば」コーナーでは、重要語句を扱い、「たいせつ」コーナーでは、学習のヒントや資料の活用方法などを記載して、学びの支援となっている。巻末の索引や前学年までの「たいせつ」掲載も良い。 ○ 学習の段階や流れはよいが、単位時間ごとの活動内容が示されておらず、1時間1時間の学習が進めづらい部分がある。
2 構成・分量	○ 図や写真が大きく、文章などの量や配列のバランスがよい。 ○ 「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れで各单元が構成されており、授業を組み立てやすい。 ○ 単元のまとめでは、いろいろな方法を掲載しており、言語活動が有効に進められるようになっている。 ○ グループの発表場面では字体を変えるなど、基本使用の字体との区別を図って見やすい。 ○ キーワードが「ことば」欄で詳しく説明してあり、ポイントをつかみやすい。	○ 基礎的・基本的事項と発展的な内容のバランス、資料の取り上げ方や学習のてびき等、まとまっている。 ○ 「つかむ→調べる→まとめる・深める」という学習の流れで各单元が構成されており、授業を組み立てやすい。 ○ 単元末に「もっと知りたい」ページを設け、さらに広く深く発展的な内容が記載されていて、社会認識を広げる構成となっている。 ○ キーワードが欄外に記載してあり、分かりにくい言葉には解説を付けるなどポイントがつかみやすい。 ○ 上巻の分量が多く（164ページ）下巻が少ない（68ページ）	○ 写真が多く視覚資料に富んでいるが、文章資料が少ない。必要以上に資料や写真をつめこみすぎず、すっきりしていて見やすい。 ○ 「見つける→調べる・話し合う→まとめる・広げる」という学習の流れで各单元が構成されており、授業を組み立てやすい。 ○ キーワードが「ことば」欄で詳しく説明してあり、ポイントをつかみやすくしている。 ○ 1冊構成なので、単元を入れ替えたり既習事項を振り返ったりすることが容易で、使いやすい。 ○ 同時に厚くて重いので、携帯性には優れない。
3 表記・表現	○ 写真、挿絵等が大きくはっきりとしていて見やすい。 ○ 単元の学習問題が、はっきりと表記されている。 ○ 字の大きさが適切で読みやすい。写真や資料に解説があり、分かりやすい。資料によっては見開きに並べ、比較しやすくなっている。 ○ ユニバーサルデザインとなっており、多くの人にとって見やすいように配慮されている。 ○ 1ページに入っている資料の数がやや多く、見づらい。	○ 方位の学習など写真を工夫して実感しやすくしている。 ○ 単元の学習問題がはっきりと表記されている。児童のノートに掲載し、具体的な学習方法が視覚的に分かるよう工夫している。 ○ 見開きの写真や拡大写真などが多く、資料も大きくて見やすい。字の大きさが適切で読みやすい。 ○ ユニバーサルデザインとなっており、多くの人にとって見やすいように配慮されている。	○ 挿絵や写真資料が豊富でよい。独自のイラストが多い。 ○ 単元の学習問題が、はっきりと表記されている。 ○ 紙質なのか、色使いが落ち着いている。 ○ ユニバーサルデザインとなっており、多くの人が見やすいように配慮されている。 ○ 資料がやや小さく、見づらい。
4 使用上の便宜	○ 「まとめる」では、ノートのまとめ方を示してあり、児童が学習を進めるのに役立つ。 ○ 3・4年下の巻末に「5年生に向けて」があり、次年度に向けての見通しがもてる。 ○ 小单元ごとのまとめをどのようにしたら良いのか、ヒントを案内役キャラクターの吹き出しで示してあり、まとめがしやすくなっている。	○ 冒頭で、「教科書の使い方」が詳細に説明されており、学習が分かりやすく進められる。巻末に社会科ガイドがついており、学習の振り返りや項目の暗記などに活用しやすい。 ○ 「まとめる」という欄を設定し、学んだことを説明したり、キーワードを挙げたり、ノートに分かったことを書いたりするなど、言語活動の充実が図れるようになっている。	○ 冒頭「教科書をヒントに、学習を進めよう」が示されており、学習が分かりやすく進められる。「まとめる・ひろげる」コーナーで、具体的にまとめ方を提示してあるので、まとめがしやすくなっている。 ○ ノートの例が随所に示されており、児童がノートをまとめる際に参考にすることができる。 ○ 見学の際のポイントや注意などがまとめて示されている。 ○ 紙質がとても良い。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会）

No. 2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本文教） 発行者番号（116）		発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	○ 基礎的・基本的事項が押さえられている。 ○ 1時間ごとに学習問題が示され、学習の進め方がよく分かる。「学び方・調べ方コーナー」があり、児童が作業を進める際の支援となる。 ○ 「大きくジャンプ」では、多様な教材が示されており、児童の興味関心をもてるようになっている。 ○ 難語句は、「キーワード」として、取り出して説明しており、児童が分かるよう工夫してある。 ○ 5年「米作りのさかんな地域」では、庄内平野の圃場整備前と後の上空写真を掲載し、視覚的に捉えやすくなっている。		
2 構成・分量	○ 基礎的・基本的事項と発展的な内容のバランスが良く、資料の取り上げ方や学習のびき等、まとまっている。 ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる・深める」という学習の流れで各単元が構成されており、授業を組み立てやすい。 ○ 説明の文章は少なく資料中心で構成されており、資料を読み取って考える学習を進めやすい。「学び方・調べ方コーナー」を配置し、資料を読み取る観点や考えるべきヒントを示す配慮がなされている。 ○ 単元末の「ふりかえってみよう」が3つのパターンから構成されており、発達段階が考慮されている。 ○ 教科書の初めに4万年の歴史を等尺年表で表しており、人類の歴史が分かりやすくなるように工夫されている。「世紀」についての説明もあり、分かりやすい。		
3 表記・表現	○ 本文とグラフ、写真、資料のバランスがよく、読みやすい。「計画メモ」として、見学やインタビューの際の注意がまとめてある。 ○ 「考えるヒント」が入っており、考える活動を支援している。 ○ 字の大きさが適切、折れ線グラフや棒グラフの色使いが良い。 ○ ユニバーサルデザインとなっており、多くの人が見やすいように配慮されている。 ○ 地球儀の扱いが少ない。		
4 使用上の便宜	○ 冒頭で、「この教科書のしくみ」が詳細に説明されており、学習が分かりやすく進められる。また、地図の使い方や都道府県の概略が示されており、その後の単元学習もより進めやすくなっている。 ○ 「ふりかえってみよう」では、学習のまとめを児童の手書き風の振り返りシートやノート、壁新聞風にしてあり、児童の参考となる。		

調査委員会における調査研究報告書

教科名（地図）

調査研究の観点	所 見	
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（帝国書院） 発行者番号（46）
1 内 容	○ 地図帳の見方や索引の使い方が初めに示されており、児童が地図学習を進めるのに役立つ。 ○ 巻末に、気候、産業、貿易、歴史・文化など、高学年の学習内容に必要な資料が盛り込まれている。また日本の自然災害について書かれたページがあり、現代の課題にも対応している。 ○ 日本の世界文化遺産や旧国名が書かれており、歴史学習に役立つ。 ○ 地方地図のページに、日本のどの辺りなのか、日本全国における位置が示されており、イメージしやすい。 ○ 地球儀の使い方を紹介したページがあり、地球儀を正しく使えるように配慮されている。 ○ 巻頭に「ながめてみよう日本のすがた」があり、3ページにわたって日本全土を立体地図的に載せ、地形をつかみやすい。	○ 巻頭5ページにわたって、地図の成り立ちやルール、地図帳の使い方などが丁寧に説明されており分かりやすい。 ○ 巻末に、地形や気候、産業の様子や歴史との関わりなど、高学年の学習内容に必要な事項が盛り込まれている。また、地震・火山の災害と防災について触れ、身の守り方を学べるようにしている。 ○ 歴史のページに年表が載っており、学習と地図がリンクしている。 ○ 世界地図に、地球儀のどの辺りなのか載っており、地方地図は、日本全国における位置が示されており、イメージしやすい。 ○ 地球儀の使い方を紹介したページがあり、地球儀を正しく使えるように配慮されている。 ○ 県名を入れていない地図ページがあり、都道府県名を覚える一助になる。
2 構成・分量	○ 全体で94ページ。分量は妥当である。 ○ A4版、大判で字が大きく見やすい。 ○ 日本の地方地図が基本的に100万分の1の縮尺になっている。（北海道は160万分の1） ○ 世界地図が、地勢図（標高別色分け）のみで表現されている。 ○ ページを増やし、版を大きくしたため、一つ一つの資料が大きく見やすい。	○ 全体で86ページ。適度の分量と重さで、持ち歩く際に苦にならない。 ○ A4版で、上がカットされた装丁。操作しやすく開きやすい。 ○ 日本の地方地図が基本的に100万分の1の縮尺になっており、大きさを比較しやすい。また複数の地図をつなげて使える。 ○ 世界地図が、地勢図（標高別色分け）と行政図（国別色分け）の2つのタイプで表現されている。 ○ 世界地図のそれぞれの大陸が掲載されているページに、それぞれの国の国旗が載っていて、興味・関心をもちやすい。
3 表記・表現	○ 地名には振り仮名が振っており、読みやすい。 ○ 都道府県の統計が1ページに全て書かれているので、比べやすい。 ○ 写真やイラストが多く、関心が高められるよう工夫されている。 ○ 縮尺の下に地図上の1cmが、実際はどれくらいの距離なのか、書かれていて分かりやすい。 ○ グラフが見やすく、資料名が明記してあり分かりやすい。 ○ ユニバーサルデザインで、多くの人が見やすいように配慮してある。	○ 地名には振り仮名が振っており、読みやすい。 ○ 比較的小さな地名も載せてあり、細かいところまで調べやすい。 ○ 地図の空いたスペースにさまざまな資料を載せ、学習する手助けになる。 ○ 地球儀の使い方もしっかりと掲載されている。 ○ ユニバーサルデザインで、多くの人が見やすいように配慮してある。
4 使用上の便宜	○ 見開きの日本地図と世界地図が巻頭と巻末に配置されており、開いてすぐに見やすく調べやすい。 ○ 地図帳の使い方を始めに丁寧に示しており、導入時に使いやすい。 ○ ページ数が多く、1ページに多くの情報を詰め込みすぎでないのを見やすい。一方で情報量はやや少なめである。 ○ キャラクターが多く登場。分かりやすく親しみやすいが、一方で目に付き過ぎるきらいもある。 ○ 表紙は普通の教科書と同じ装丁である。 ○ 地図上の吹き出しで着目点書かれているが、社会科の学習のめあてと必ずしも合致しているとは言えないものがある。	○ 見開きの日本地図と世界地図が巻頭と巻末に配置されており、開いてすぐに見やすく調べやすい。 ○ 地図帳の使い方が学べるようになっていて学習の一助となる。 ○ 空から東京を眺めてみようという鳥瞰図があり、東京の児童にとって使いやすい。 ○ 史跡が索引に青で書かれているので、検索しやすい。 ○ 5・6年の社会科授業で役立つ資料が多く、活用しやすい。江戸と現在の東京を比較した地図は同ページに載っていて比較しやすい。 ○ 表紙が丈夫に加工されており、3年間の使用に耐えられるつくりになっている。